

○神楽面写真集紹介・『三浦・三崎 面神楽点描』

江戸里神楽公演学生実行委員会が発行してきた公演パンフレットの特徴といえば「神楽面写真特集ページ」です。第九回公演（2016年9月9日開催）のプログラムにも数多くの相模地方の神楽面が紹介したところ、ご来場の二人の方から「興味深い資料ですね」とお褒めをいただいたところです。

そこで、本年（1917年）の活動プランの一つに神奈川県の「神楽面」を調べてみようという目標を立ち上げ、シニアスタッフ（ソニオソフオトクラブ有志）を中心に神楽面撮影プロジェクトがスタートしています。

そのような折、素晴らしい神楽面写真集を私たちは垣澤社中さんから借用することができました。永田泰祐氏が撮影された写真作品を海南神社面神楽保存神楽師会が発行したもので、米田蘭氏の表紙絵が印象的な本でした。

早速に内容を紹介します。紹介された神楽面は全部で56点。以下のような写真タイトルが付いております。

四方固め・恵比寿（古）・恵比寿（新）・道化（家臣、子ども）・医者様（悪いおじいさん）・姫様（彦面）・般若（彦面）・手力男命（戸隠）・、アメノウズメミコト・オロチ・オロチ・おじいさん・桃太郎・きつね・さる・扇の舞（イシコリドメノミコト、娘、姫様、織姫、クシナダ姫、鯱）・道化（家臣）・御幣の舞・御幣の舞（アメノフトダマノミコト）・鬼（赤）・鬼（白）・道化（子ども）・道化（家臣、子ども）・道化（家臣、子ども）・源頼光（殿様）・スサノオノミコト（渡辺綱）・殿様（イザナギノミコト、鏡持ち、アメノコヤネノミコト）・黒面（春日大明神）・赤面・荒神面・いぬ・たぬき・きつね・スサノオノミコト（大蛇退治）・ひよっこ（道化、家臣、子ども）・おかめ・三人和合（弟、碓井荒太郎、海幸彦）・手名椎（おばあさん）・坂田金時（ハチ）・猿田彦・道化（家臣、子ども、カニ）・足名土・オロチ・鳥天狗・鬼（山の神、酒呑童子）・オロチ・天照大神（乙姫）・おばあさん・刀の舞（アメノタマノオヤノミコト）・鬼・浦島太郎・ト部六郎（殿様）・大黒様・鬼（緑）・三人和合（兄）、カメ（カニ）
名称だけでは、どのような図（ず）なのか想像できないと思いま

すが、神楽面を様々な角度から撮影され、面が放つ表情を紹介されています。

さて、神楽面は神楽演目との関係で理解されることが大切です。神楽面は、神楽演目（さらには神楽に登場する役）と関連付けて理解されないといけません。

この神楽面写真集は、周到です。国固め、恵比寿の舞、湯立、千鳥、三人和合、三人囃子、彦面、羅生門、大江山、鶴茅草、勘当場、大蛇退治、岩戸開き、天狐の舞、種まき、玉取り、花咲かじいさん、浦島太郎、桃太郎、猿蟹合戦、舌切り雀、宝剣取り、獅子舞といった伝承演目を紹介されており、三浦の面神楽の魅力を私たち読者に伝えてくれています。三浦市教育委員会の調査成果を十分に取り入れられています。神楽面と演目（役どころ）との関係がよくわかるように、配慮されています。素晴らしいです。神楽面写真集のあるべき姿が実現されており、まさに「生きた神楽面写真集」になっています。

三浦市の民俗、その代表はなんといっても「いなりっこ」（稻荷講）の伝承です。子どもたちが愛用してきた面がたくさんあります。私たちは、三浦市を訪ねてみたくなりました。

最後に、久野三浦市長、高木教育長、米田海南神社宮司、板倉氏子総代会長、水上神楽師会長の挨拶文を読ませてもらいました。みなさん、心からこの神楽面写真集の刊行を喜んでおられることが理解できました。なんと幸福な神楽面写真集、そう思いました。やはり、故郷の芸能に関する刊行物は故郷の人たちに喜ばれるものが一番です。神楽面写真の素晴らしさと解説の丁寧さ、永田泰佑氏の熱意が伝わる立派な神楽面写真集です。加えて、書籍用紙が超厚い。重厚感がある写真集です。

○奥付情報

書 名：『三浦三崎・面神楽点描』

作 者：本田泰佑

発 行：海南神社面神楽保存神楽師会

発行年月：1998年11月1日

(文責・シニアスタッフ 斎藤修平)

